



## “バスルーム篇”

一日の疲れを癒し、ゆったりとリラックス時間を過ごしたいバスルーム。浴槽やシャワー、水栓だけでなく、洗面器、椅子など入浴時に使う用品も多いことから、掃除をする箇所が平均7.3箇所と最も多くなりました。苦手なおそうじ場所の年齢別の傾向も分かれました。

### Q1 おそうじにかかる時間は？

“15分”を境に、年代による差が明白に！

20代～30代では半数前後が“15分未満”ですが、40代～60代になると7割が“15分以上”との回答で、年代によって差があることがわかります。また、掃除好きや掃除頻度が高い層は、比較的短い傾向になりました。

平均  
19.4分

### Q2 普段おそうじをする場所は？

「浴槽」「床」「排水口」は全世代で高い水準に！

上位3箇所は、年代を問わず多くの回答が集まりましたが、「浴槽のふた」「洗面器」など、20代の3割～5割弱に対して60代が8割～9割と、大きな差のある場所も。



### Q3 使用する洗剤・道具の数は？

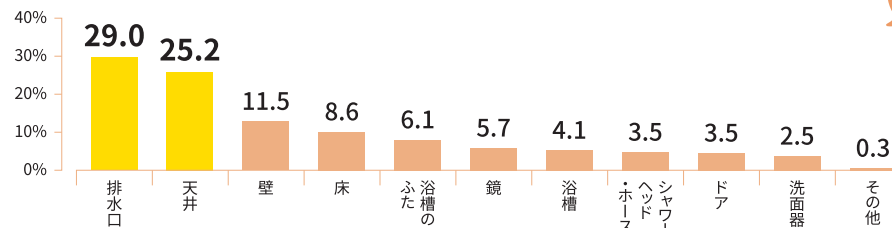
年代によって、道具の使用率にもバラツキが！

「カビ取り剤」は7割で、特に40代では8割と高い使用率になっています。50代～60代は「ブラシ」、60代では「雑巾」「タワシ」にも根強い人気があるようです。

全体の9割が、掃除道具に「スポンジ」を使用！

洗剤・道具の使用個数は平均3.8個！

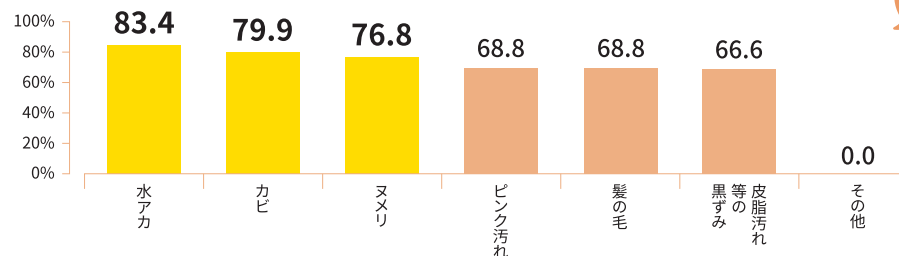
### Q4 苦手なおそうじ場所は？



「排水口」と「天井」に、回答の多くが集中！

フチや隅にヌメリがたまりやすい「排水口」、手の届きにくい「天井」は、構造や高さがあることなどで、多くの方が掃除のしづらさを感じているようです。年代別では、40代以下が「排水口」、50代は「排水口」と「天井」が同水準、60代になると「天井」が最も多くなっていることから、年齢や体力によって、苦手意識も変化するものと推測されます。

### Q5 おそうじの際に気になる汚れは？



水アカ、カビ、ヌメリは8割前後の方が気にしている！

湿気や水分によって生じる汚れに多くの回答が集まりましたが、菌の一種である「ピンク汚れ」や「髪の毛」、「皮脂汚れ等の黒ずみ」に関しても、7割近い方が気になる汚れとしてあげており、全体的に高い数字となりました。「カビ」は30代～40代が9割前後と最も高く、30代は「ピンク汚れ」、50代は「水アカ」、60代では「ヌメリ」が気になる傾向にあります。